

# Step UP!

2014年 8月 7日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 1

編集責任者 情 宣 部

## 第28回定期全国委員会を開催 全国各地から青年部員が結集!!

JR貨物労組青年部は、7月27日から28日にかけて大阪弥生会館にて第28回定期全国委員会を開催しました。定期委員会には委員、傍聴、来賓、準備委員、中央常任委員の総勢120名を超える人数が結集し盛大に行われました。開会に先立ちオープニングでは本部青年部で作成した「たしろかおる参議院議員と共に闘おうJR貨物労組青年部職場討議DVD」を参加者全員で視聴しました。冒頭、森川青年部長のあいさつでは、昨1年間の青年部運動を振り返り、「青年部組織の再構築に向けて実践してきたが、脱退や退職が多く発生してしまった。青年部員の生活を守るために、会社に対して青年部員の現実や声をぶつけてきたが、過去最低の賃金に抑え込まれた。鷲別機関区基地存続に向けて3年間たたかい続けてきたが、廃止が決まってしまった。」と悔しい思いが話され「この先、青年部員が雇用不安もなく安定した生活を送って行くために、脆弱な経営基盤の会社と国鉄官僚体質が色濃く残っている経営陣の姿勢を質し、未来ある職場を私たちの手で創っていこう」と話がされました。定期委員会の開催に多くの来賓の方々が見えられ、相澤中央執行委員長からは、昨一年の青年部員のたたかいに感謝を頂き、「期末手当では過去最低の支払いとなった。組合員の雇用と生活を守るたたかいの中で厳しい判断が迫られた。国鉄からの負の遺産を次の世代に残さない為にたたかっていく」と話がされました。



今定期委員会には、開会からたしろかおる組織内議員が駆け付け挨拶を頂きました。JR総連青年協からは福田議長、貨物労連連絡会からは日本運輸倉庫高橋青年部長、西労青年部再結成準備委員会から白旗代表、開催の当該地本定国委員長、全国OB会から藤原副会長から来賓の挨拶を頂きました。質疑応答では、26名の委員から発言があり、貨物改革や青年部組織、安全問題、業務及び基地の問題、平和の取り組みやたしろかおる議員について、この間の厳しいたたかいや活動報告、青年部員の切実な声、これからの課題について提起されました。質疑応答後、本部から税田書記長、JR東労組青年部から今井事務長、日本運輸倉庫から米島さんから感想を頂きました。今定期委員会では、森川青年部長、河野事務長、深谷会計監査、内山会計監査が退任され、新たに東北地青から後藤部長が選出され、佐久間新体制が発足しました。



青年部長	佐久間 晃史	28歳	東京貨物(夕)駅
副青年部長	八文字 隆二	30歳	隅田川機関区
副青年部長	後藤 修一	26歳	郡山車両所
事務長	黒澤 進也	29歳	東京貨物(夕)駅
会計監査	高橋 英嗣	24歳	新鶴見機関区
会計監査	勅使河原 禎	24歳	愛知機関区